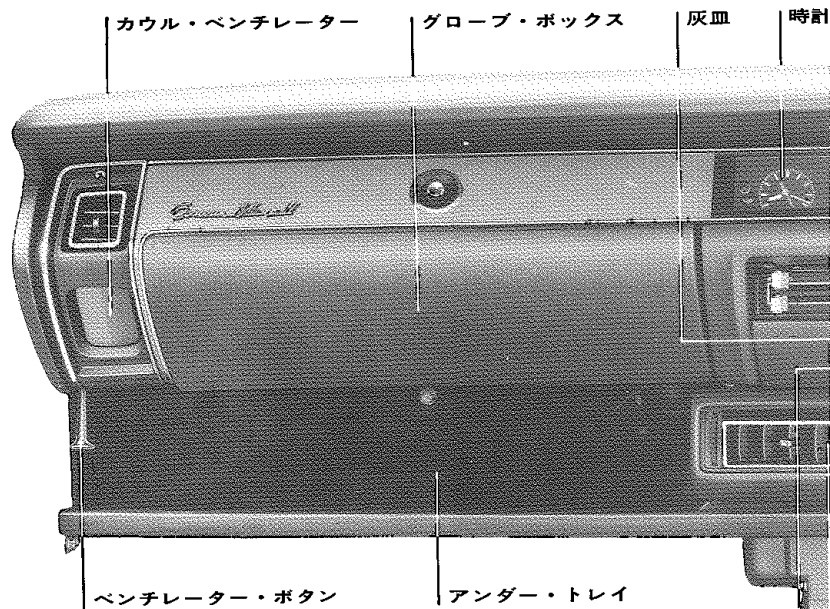
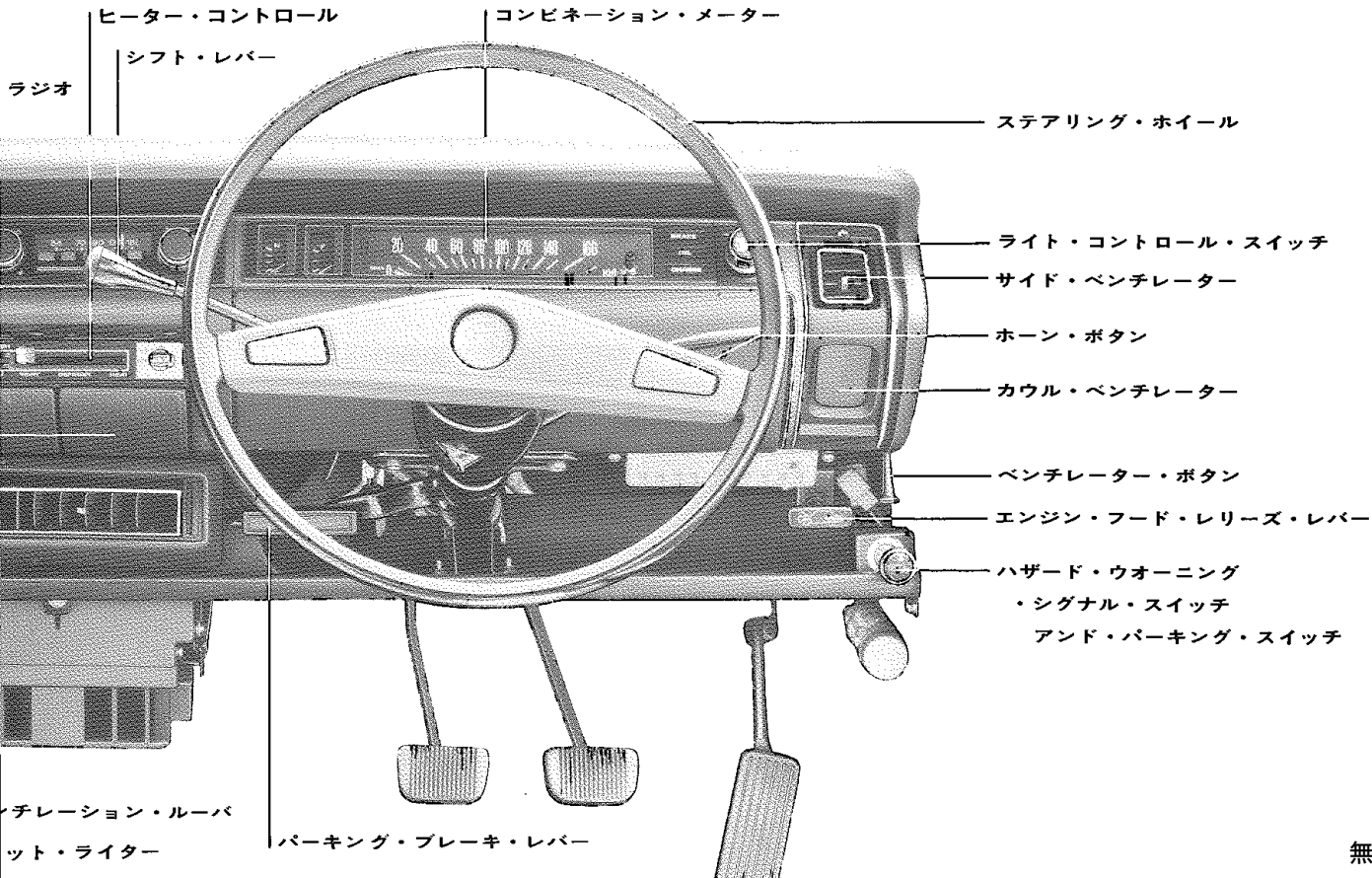


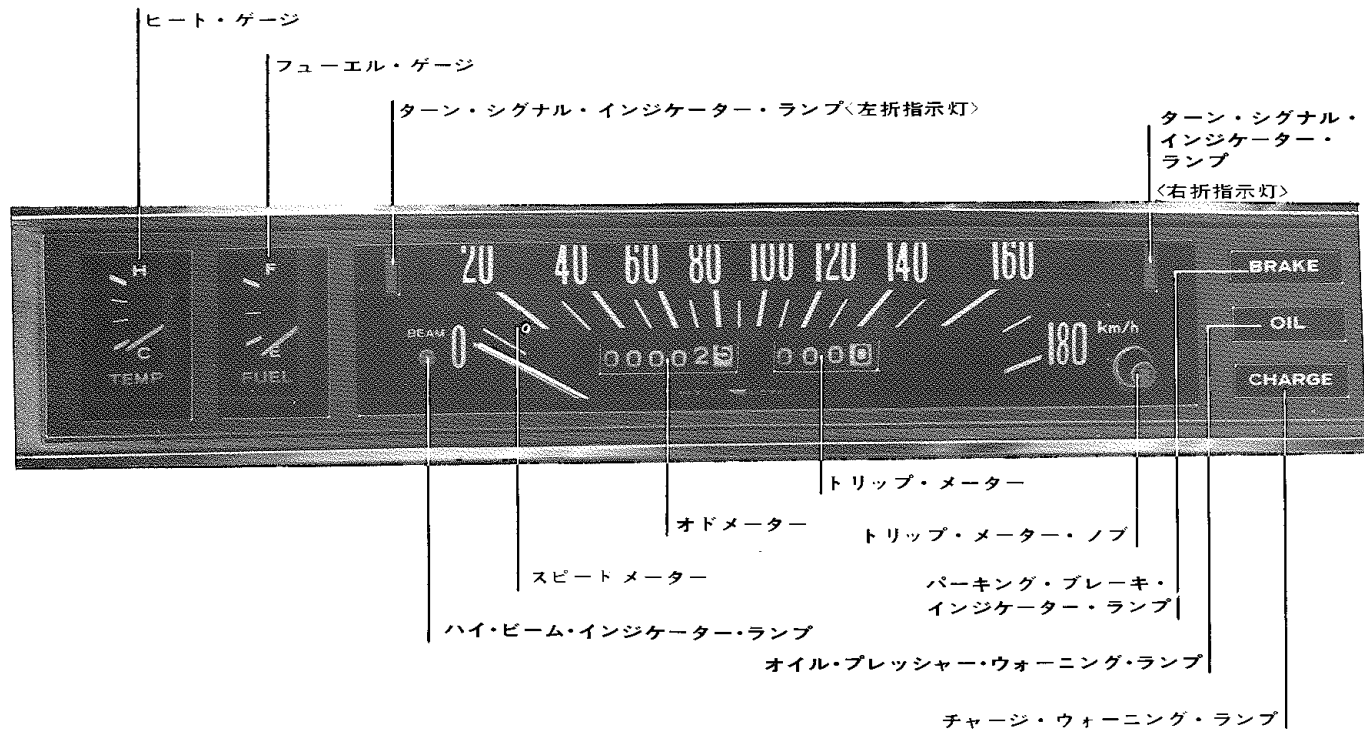
運転装置と計器盤

CORONA *MARK II* VAN・PICK-UP





メーター関係



■ オドメーター〈積算距離計〉

いままで走った総距離をkmの単位で表わします。

白地に黒文字は 100m の単位を表わします。

■ トリップ・メーター

必要に応じて0にもどすことのできる積算距離計です。数字の単位はオドメーターと同じです。

数字を0にもどすときは、トリップ・メーター・ノブを右にまわします。

■ ターン・シグナル・インジケータースター・ランプ〈方向指示器指示灯〉

ターン・シグナル・ランプの右または左が点滅しているときに点滅します。右折の場合には右、左折の場合には左のインジケータースター・ランプ(緑色)が点滅します。

■ ハイ・ビーム・インジケータースター・ランプ〈前照灯の指示灯〉

ヘッド・ランプがハイ・ビーム〈4灯全部点灯〉のときにBEAMランプ(青色)が点灯します。

■ パーキング・ブレーキ・インジケータースター・ランプ〈駐車ブレーキ指示灯〉

エンジン・スイッチがONの位置で、パーキング・ブレーキが引いてあるときにBRAKE(赤色)ランプが点灯します。その状態でブレーキ・ペダルを踏むと、BRAKEランプが消えます。

■ オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ〈油圧警告灯〉

運転中、潤滑系統が異状のときにOILランプ(赤色)がつき警告します。

エンジン・スイッチをONにするとOILランプがつき、エンジン始動後アクセル・ペダルを踏むと消えます。

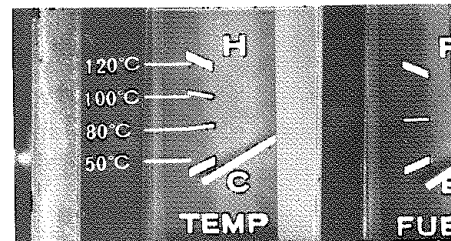
アクセル・ペダルを踏まないときOILランプが明滅しても異状ではありません。

■ チャージ・ウォーニング・ランプ〈充電警告灯〉

運転中、充電系統が異状のときにCHARGEランプ(赤色)がつき警告します。

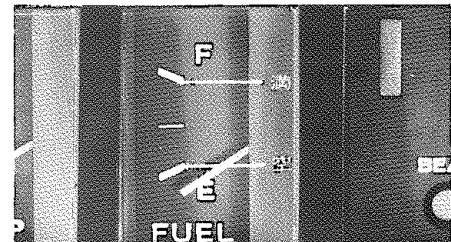
エンジン・スイッチをONにするとCHARGEランプがつき、エンジンを始動するとランプが消えます。

■ ヒート・ゲージ



エンジンの冷却水の温度を示します。エンジン・スイッチがONのとき作動しOFFにすると“C”側にもどります。運転時の冷却水適温は75℃～95℃です。冷却水温度は120℃(オーバ・ヒート)になったときは43頁を参照して適切な処置をとってください。

■ フューエル・ゲージ〈燃料計〉

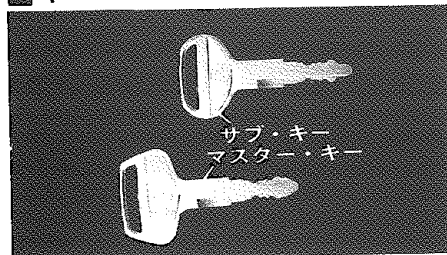


フューエル・タンク内のガソリン残量を示します。

エンジン・スイッチがONのとき作動しOFFにすると“E”側にもどります。指針がEを指示したらガソリンの補給をしてください。

スイッチおよびレバー関係

■キー

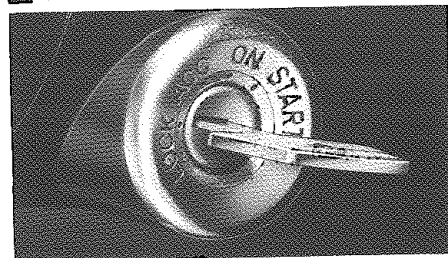


コロナ MARK IIのキーは両差しのマスター・キー方式で、上下の方向性がありませんので便利です。

マスター・キーは、お車のすべてのキー・シリンダーに使用できます。

バン・テラックス車は更にサブ・キーがついています。サブ・キーではグローブ・ボックスの施錠、解錠ができませんのでお車をあずける際など、グローブ・ボックスを開けられたくないときに使用します。

■エンジン・スイッチ



ON……………エンジン運転中の位置です。すべての電気系統が作動します。

《注意》 バッテリー上りの原因になりますので、エンジンをかけずにスイッチをONにしたまま放置しないでください。

START…エンジンを始動するときの位置です。始動したらすぐキーから手を離してください。キーはスプリングの力でONの位置まで戻ります。

《注意》 故障の原因になりますので、エンジンがかかっているときはスイッチをSTART位置にしないでください。

ACC……………エンジンを止めたまま、ラ

ジオが開ける位置です。

LOCK……キーの抜き差しできる位置で、同時にステアリング・ホイールをロックする位置です。これ以外の位置ではキーが抜き出せません。キーを**LOCK**の位置にして抜きますと再びキーを差し込み、**ON**にしないかぎりステアリングの操作ができなくなり、お車の盗難防止に役立ちます。

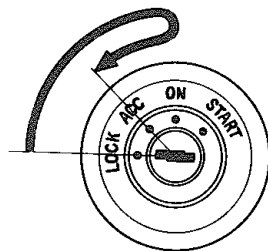
ステアリング・ロックを解除する場合は、キーを差し込み、ステアリング・ホイールを軽く左右に動かしながら**ON**の方向にまわします。

■エンジン停止状態で車を動かす場合 ステアリング・ロック

エンジン・キーを抜いたり、差した状態でも**LOCK**位置のままで移動されると、ハンドルが固定され非常に危険です。

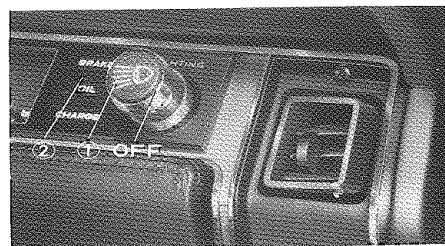
けん引してもらう場合、またはエンジンをとめて移動する場合は、必ずエンジン

・キーを差して一回**ON**にし、ステアリング・ロックを解除してから、**ACC**の位置にしてお車を動かしてください。



ブレーキ・ブースタ(ブレーキ倍力装置) エンジンが回転していない場合、ブレーキ・ブースタは作動しません。したがってブレーキ・ペダルが重く、効きも悪くなりますのでご注意ください。(この項はブレーキ・ブースタ付車のみ)

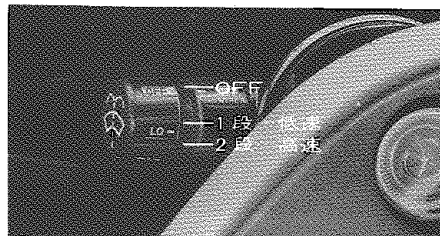
■ライト・コントロール・スイッチ



2段引き出し式のスイッチで①および②でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

灯 火 名	①	②
ヘッド・ランプ		○
スモール・ランプ(車中灯)	○	○
テール・ランプ	○	○
ライセンス・プレート・ランプ	○	○
メーター・パイロット・ランプ	○	○

■ワイパー・アンド・ウインドウ・ ウォッシャー・スイッチ



ワイパー・スイッチ…………

スイッチは2段回転式です。

前側に1段まわすと低速、2段目までまわすと高速で作用します。

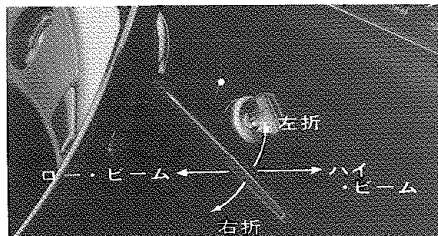
ウインドウ・ウォッシャー…………

ウインドウ・ウォッシャーはワイパーと連動式になっています。スイッチを押すとウォッシャー液が噴射され、同時にワイパーが数回作動し止まります。

《注意》

ガラスに泥水、埃がついている場合はワイパーを、また、ウォッシャー液が空のときウォッシャーを作動させないでください。

■ターン・シグナル・アンド・ デイマー・スイッチ



ターン・シグナル・スイッチ…………

エンジン・スイッチがONのときに作用します。

レバーを上〈左折〉、または下〈右折〉の位置にすると、ターン・シグナル・ランプが点滅します。

このとき、計器盤のターン・シグナル・インジケーター・ランプ（緑色）も同時に点滅します。

ハンドルをもとにもどすと、レバーは自動的にもどります。

《注意》

Y字路など、ハンドルの操作の少ないときはレバーが自動的にもどらないときが

あります。このようなときは手でもどしてください。

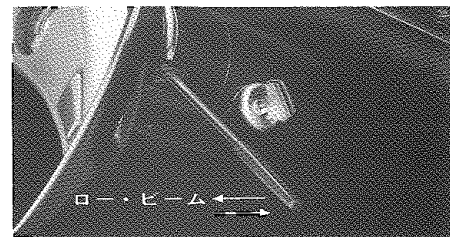
デイマー・スイッチ…………

ヘッド・ランプが点灯しているときに作用します。

レバーを前側に押すと4灯〈ハイ・ビーム〉点灯します。

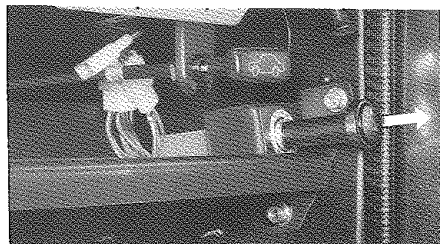
ハイ・ビームが点灯しているときは、コンビネーション・メーター内のBEAMランプ（青色）がつかます。

ヘッド・ランプ・ホーン…………



レバーをロー・ビームの位置から手前に引くとライト・コントロール・スイッチに関係なくヘッド・ランプのハイ・ビームが点灯しますが、手を離すと自動的にレバーがもどり消えます。

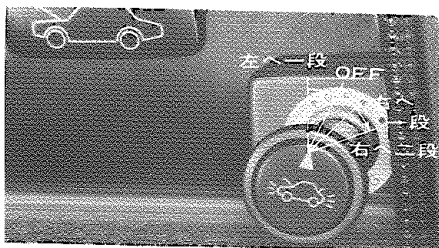
■ハザード・ウォーニング・スイッチ
(非常点滅表示灯スイッチ)



スイッチを引き出すと、ターン・シグナル・ランプが前後左右とも全数点滅し、車が緊急駐車中であることを知らせます。このとき、コンビネーション・メーター内のターン・シグナル・インジケータランプ（緑色）が左右とも同時に点滅します。車が故障などで緊急路上駐車しているときは他車の追突防止のため必ずご使用ください。

■パーキング・スイッチ

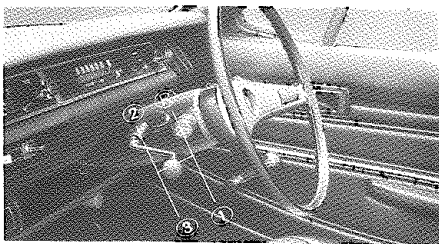
パーキング・スイッチはハザード・ウォーニング・スイッチと共用になっています。〈夜間の長時間駐車灯〉



左へ一段回転……左側の前後駐車灯
右へ一段回転……右側の前後駐車灯
右へ二段回転……左右の前後駐車灯

■シフト・レバー

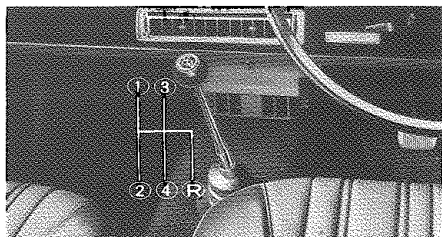
コラム・シフト車



オール・シンクロメッシュの前進3段と後退1段です。

シフト・パターンは写真のとおりです。

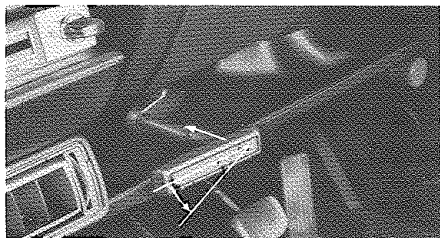
フロア・シフト車



オール・シンクロ・メッシュの前進4段と後退1段です。

シフト・パターンは写真のとおりです。コラム・シフト車、フロア・シフト車共にエンジン・スイッチがONのとき、コントロール・レバーをRの位置にするとバック・ランプがつきます。

■パーキング・ブレーキ・レバー



レバーをいっぱい引くと、後2輪にブレーキがかかります。

レバーを左にまわし、いっぱい押しもどすとブレーキがはずれます。

エンジン・スイッチがONのときにパーキング・ブレーキを引くと、コンビネーション・メーター内のBRAKEランプ（赤色）がつかまります。

エンジンの始動

CORONA *MARK II* VAN・PICK-UP

